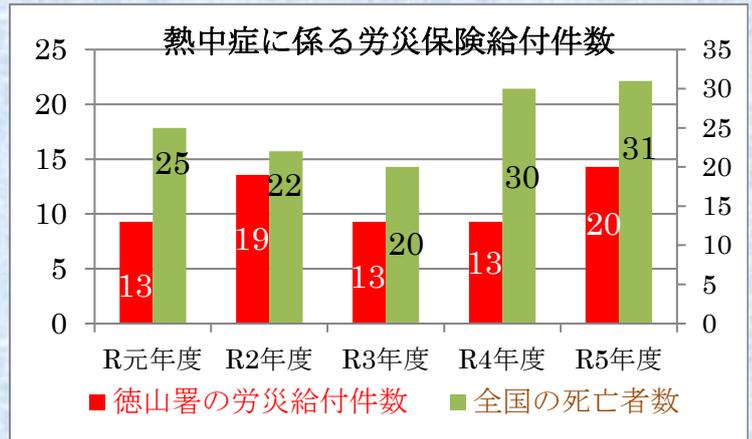


# 熱中症を防ごう！！

令和5年の職場における熱中症による全国の死亡者数は前年と比べ増加しています。また、山口県内では3名の方が亡くなりました。

徳山労働基準監督署管内において、亡くなった方はおられません。熱中症による労災保険給付件数は前年と比べて大幅に増加しました。

熱中症は早期の治療が重要であることから、少しでも体に異変を感じた時は、ためらわず、病院にかかりましょう！



## 1 山口県内での令和5年の熱中症事例（死亡災害 全3件）

発生月	時刻	業種	症状の様子	年齢	性別	
1	7月	17時台	農業	草刈り作業中に倒れているのを発見された。	20代	男性
2		11時台	建設業	草刈り作業中に倒れているのを発見された。	60代	男性
3		17時台	警備業	交通誘導中に突然倒れた。	50代	男性

## 2 キャンペーン期間（5月～9月）に取り組む事項

- WBGT値の把握と評価  
JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握しましょう
- 休憩場所の整備  
作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所又は日陰等の涼しい休憩場所を確保しましょう
- 服装  
透湿性・通気性の良い服装、送風機能のある作業服等を着用しましょう
- 作業の中止、休憩の確保  
WBGT基準値を大幅に超過する場合には、原則、作業を行わないようにしましょう  
WBGT基準値を超過する場合には、定期的な休憩を増やしましょう
- 暑熱順化への対応  
7日以上かけて暑熱へのばく露時間を少しずつ長くするよう調整しましょう
- 水分・塩分の摂取  
水分と塩分補給のための用品を備え付けましょう  
定期的に水分と塩分を摂取できるよう配慮しましょう
- 健康診断結果に基づく対応  
糖尿病等の疾患を持った方には医師等の意見を踏まえて配慮しましょう
- 日常の健康管理  
日々の健康管理（朝食の未摂取、睡眠不足、前日の飲みすぎ等）が熱中症の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前に確認しましょう
- 作業中の労働者への健康状態の確認  
巡視を頻繁に行い声をかける、「バディ」を組ませる等労働者にお互いに健康状態を留意するよう指導しましょう
- 異常時の措置  
少しでも本人や周りが異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、病院に搬送する（症状に応じて救急隊を要請）などの措置をとりましょう

### 3 徳山労働基準監督署内での令和5年の熱中症事例（全20件）

発生日	時刻	業種	症状の様子	年齢	性別	
1	5月	15時台	その他	片付け作業後に体調が悪くなる。痙攣あり。(屋内)	20代	男性
2	6月	14時台	運送業	荷卸し作業終了後に体調が悪くなる。動悸等あり(屋外)	40代	男性
3		11時台	その他	片付け作業中に体調が悪くなる。意識障害あり。(屋内)	50代	女性
4	7月	16時台	建設業	樋取付け作業中に体調が悪くなる。目眩等あり。(屋外)	60代	男性
5		16時台	清掃業	清掃作業中に体調が悪くなる。(屋外)	50代	男性
6		13時台	建設業	現場に向かうときに体調が悪くなる。(屋外)	30代	男性
7		14時台	製造業	出店活動中に体調が悪くなる。(屋外)	20代	女性
8	8月	12時台	建設業	検査後の食事休憩中に体調が悪くなる。嘔吐あり。(屋外)	20代	男性
9		12時台	建設業	工事立会中に体調が悪くなる。(屋外)	70代	男性
10		16時台	運送業	積込み作業中に体調が悪くなる。頭痛、目眩等あり。(屋外)	50代	男性
11		8時台	運送業	積込み作業中に体調が悪くなる。足の痺れ、目眩あり。(屋内)	40代	男性
12	9月	12時台	製造業	製造作業中に体調が悪くなる。倦怠感あり。(屋内)	40代	男性
13		11時台	その他	草刈り作業中に体調が悪くなる。(屋外)	40代	男性
14		16時台	警備業	交通誘導中後に体調が悪くなる。目眩、嘔吐、倦怠感あり。(屋外)	70代	男性
15		14時台	製造業	充填作業中に体調が悪くなる。嘔吐あり。(屋外)	40代	男性
16		14時台	その他	清掃作業中に体調が悪くなる。(屋内)	40代	女性
17	10月	11時台	建設業	屋根工事終了後に体調が悪くなる。嘔吐、倦怠感等あり。(屋外)	20代	男性
18		11時台	建設業	溶接作業中に体調が悪くなる。足の痺れあり。(屋内)	30代	男性
19		12時台	鉄道業	伐採作業後に体調が悪くなる。手足の痺れあり。(屋外)	70代	男性
20		13時台	運送業	固縛作業中に体調が悪くなる。嘔吐あり。(屋外)	50代	男性

### 4 重点取組期間（7月）に取り組む事項

- 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加しましょう
- 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底しましょう
- 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底しましょう
- 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加しましょう
- 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育の実施をしましょう
- 体調不良の者に異常を認めたときは、躊躇することなく救急隊を要請しましょう